

「平成27年度大分県国民保護ワーキング型図上訓練」を実施しました。

本県では、万が一大きなテロ等が発生した場合に、迅速かつ的確に県民の避難や救助・救護活動等が行えるよう関係機関と連携して国民保護訓練を実施しています。

今年度は、平成31年に大分スポーツ公園総合競技場で開催予定のラグビーワールドカップに向け、万全の態勢を構築することを主な目的として、訓練を実施しました。

また、県対策本部及び関係機関等の初動対応について基礎的に訓練し、概要を確認するとともに、対応時における問題点を案出し、方策及びその方向性を検討することを狙いとした、“ワーキング型”の図上訓練を実施しております。

訓練の概要

1 目的

平成31年に、大分スポーツ公園総合競技場で開催予定のラグビーワールドカップに向け、万全の危機管理態勢を構築することを目的とする。

このため、今年度の訓練においては、テロによる爆破を想定したワーキング型による図上訓練を実施し、爆破直後の観客の安全確保等に向けた、各対策部及び関係機関等の処置事項等について考察し、緊急対応事態発生時の対策本部等としての国民保護措置に係るシナリオを確立する。

2 実施日時

平成27年8月28日（金）13時00分～16時00分

3 場所

県庁舎新館8階防災センター

4 想定

事前に、国際スポーツイベントでのテロ行為を示唆する旨の犯行声明があり、当日未明に、武器らしきものを携行した武装集団が佐賀関の海岸に上陸、国際スポーツの競技中に、会場の大銀ドーム観客席において爆破事案が発生。

さらに、その後、大分市内の大型複合商業施設において爆発物が発見される。

5 参加機関

大分県警察本部交通規制課、警備第二課、大分市消防局、自衛隊大分地方協力本部、陸上自衛隊第41普通科連隊、大分県、大分市、日本赤十字社大分県支部、一般社団法人大分県バス協会、大分スポーツ公園事業所

国民保護「ワーキング型」図上訓練の景況



生活環境部長挨拶



国際スポーツ誘致・推進室による
イベントの組織、運営に係る説明



日赤大分県支部による同支部の
行動に係る説明



警備第二課による県警の警備に
係る行動について説明



公園・生活排水課による指定
管理者の業務の範囲に係る説明



大分スポーツ公園事業所による
「消防計画」に関する説明